

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32101	情報と社会 Information Society	菅瀬 君子	専門	2	選択	1・2年 前期
科目の概要						
<p>情報化社会(インターネット、スマートフォン、電子マネー、デジタル放送、デジタル書籍 ets)と言われる現在、デジタル情報技術の発達により、多くの情報を入手することができ私たちの日常生活は、いつでもどこでも・・・ができる環境下で生活が便利になりました。反面、ネット犯罪、情報セキュリティの問題など、多くの問題も抱えています。情報技術の発達やIT化によりさまざまな分野や社会に影響を及ぼしているのが現状です。情報化の現状や実社会で起きている問題を知り、その影響や情報技術の利便性と問題点について考えていきます。そして、ネチケット、情報倫理について学んでいきます。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 情報化社会の状況について調べ、日常の生活との関わりについて学ぶ。</p> <p>② 情報化が社会や文化に及ぼす影響について学ぶ。</p> <p>③ 情報技術の発達による、利点と問題点を調べ考察する力を養う。</p> <p>④ 情報セキュリティについて、技術的な面と個人でできる防犯対策を学ぶ。</p> <p>⑤ 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪について、データを基に情報倫理問題について学ぶ。</p>			<p>① 「情報化社会」とは、どのような社会かを知り、理解することができる。</p> <p>② 情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解することができる。</p> <p>③ 情報技術の利点と問題点を調べ考察する力を養う。</p> <p>④ 情報セキュリティについて学ぶことにより、技術的な防犯対策を理解し、日常の生活で役立たせることができる。</p> <p>⑤ 実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に、情報倫理問題を理解することができる。自分の身を守ることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	情報化が及ぼす社会や文化への影響について関心を持ち、新聞、インターネット等を活用し自主的に調べ考察する。				
	働きかけ力					
	実行力	インターネット等の情報収集のみならず、フィールドワークにおいても積極的に情報収集を試み、自分の身近な生活についての情報化の影響について調べ考察する。				
考え抜く力	課題発見力	情報化社会の課題や問題点について、客観的な視点で、実社会で起きている事柄について見極める。				
	計画力					
	創造力	授業で修得したこと、テレビ、新聞、インターネットなど様々な情報ツールを活用し、自分の生活がより豊かになるためにどうすればよいか、自分なりに工夫する。				
チームで働く力	発信力	実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、自分の考えをわかりやすく伝える。または、文章で表現できる。				
	傾聴力	実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、他者の考えをしっかりと理解する。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻をしない。授業中は私語を慎み不明な点は積極的に質問をし、授業時間内で解決できるようにする。欠席した場合は、欠席届を提出し指定された課題を行う。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:2018 事例でわかる情報モラル(実教出版) 必要に応じて資料を配布する。 参考資料:愛知学泉大学・愛知学泉短期大学 楽しいキャンパスライフのために他人への思いやりを「新入生へのメッセージ」冊子</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:「情報デザイン」 資格との関連:情報処理士・ウェブデザイン実務士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>情報に関わる事柄について、新聞、テレビ、インターネット上でのニュースなどで、常に新しい情報をチェックし、実社会で起きている事柄に関心を持ち、自身の生活にどのような影響を与えているかを考えてみましょう。</p>			<p>授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられること。授業中は、私語、スマートフォンの使用は慎むこと。予習・復習をする時間を取りましょう。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	60	①	・ 8 週目～15 週目までの授業で学んだことを範囲とし、問いに対し該当する言葉を記述形式で回答する。 ・ 事例をもとに具体的に自分の考えを含め説明しなさいという問いに対し、具体的に説明され、自身の考えが明確に述べられている。 評価ポイント ・ 90 点以上：S、80 点以上 90 点未満：A、70 点以上 80 点未満：B、60 点以上 70 点未満：C、60 点未満：F
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト	30	①	・ 2 週～6 週目の授業で学んだことの小テストを 7 週目で実施する。 テスト形式は、記述式。 授業内容を理解できているかを確認する。 評価ポイント ・ 90 点以上：S、80 点以上 90 点未満：A、70 点以上 80 点未満：B、60 点以上 70 点未満：C、60 点未満：F
		②	
		③	
		④	
		⑤	
レポート			
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	【主体的】：IT 化が及ぼす社会や文化への影響について関心を持ち、新聞、インターネット等を活用し自主的に調べ考察する。 【実行力】：インターネット等の情報収集のみならず、フィールドワークにおいても積極的に情報収集を試み、自分の身近な生活についての IT 化の影響について調べ考察する。 【課題発見力】：情報化社会の課題や問題点について、客観的な視点で、実社会で起きている事柄について見極める。 【創造力】：授業で修得したこと、テレビ、新聞、インターネットなど様々な情報ツールを活用し、自分の生活がより豊かになるためにどうすればよいか、自分なりに工夫する。 【発信力】：実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、自分の考えをわかりやすく伝える。または、文章で表現できる。 【傾聴力】：実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪など、データを基に情報倫理問題について、他者の考えをしっかりと理解する。【規律性】：無断欠席、遅刻、居眠り、私語などしない。不明な点は積極的に質問をし、解決できるようにする。
		②	
		③	
		④	
その他			
総合評価 割合	100		学修態度、小テスト、筆記試験を総合評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)評価 ①「情報化社会」とは、どのような社会かを知り、理解できている。 ②情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解できている。 ③情報技術の利点と問題点を調べ考察できている。 ④情報セキュリティについて、技術的な防犯対策を理解できている。 ⑤実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に、情報倫理問題が理解でき、どのようにすれば自分の身を守ることができるのか具体策が考えられている。 ⑥学習態度にある7項目が達成できている。 A(優)評価 上記項目①②④⑤が理解できている。⑥の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。	B(良)評価 ①「情報化社会」とは、どのような社会かを知り、理解できている。 ②情報化が及ぼす社会や文化への影響について理解できている。 ⑤実社会で起きているコンピュータの有害情報、ネットワーク犯罪の事例を基に、情報倫理問題が理解でき、どのようにすれば自分の身を守ることができるのか具体策が考えられている。 ⑥学習態度にある 7 項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 C(可)評価 上記項目①⑤が理解できている。⑥の学習態度にある 7 項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	○オリエンテーション 授業の概要説明 コンピュータの仕組みについて コンピュータ、ソフトウェアのしくみについて復習し、情報と人間とのかかわりについて理解する	講義 PPにより説明 情報と人間とのかかわりについてフィードバックをする	コンピュータの仕組み、情報と人間との関係性が理解できる	(復習)情報と人間との関係性を確認する	180	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	○ビックデータ ビックデータとは何か？ 活用の事例をもとに生活への関わりと影響を解説	講義 PPにより説明 ビックデータと私たちの生活についてフィードバックをする	ビックデータが及ぼす影響が理解できる	(復習)ビックデータが及ぼす影響を確認する (予習)人工知能(AI)について調べる	180	実行力 課題発見力 創造力
3週 /	○人工知能(AI) 人工知能とは何か？ 活用の事例をもとに生活への関わりと影響を解説	講義 PPにより説明 人工知能と私たちの生活についてフィードバックをする	社会生活における情報化が理解できる	(復習)人工知能(AI)が及ぼす影響を確認する (予習)情報化社会とは？について調べる	180	実行力 課題発見力 創造力
4週 /	○情報化社会の現状 個人・家庭・社会生活における情報化について、事例を基に解説	講義 PPにより説明 情報化社会による私たちの生活への影響についてフィードバックをする	社会生活における情報化が理解できる	(復習)個人・家庭・社会生活における情報化について確認する (予習)インターネットについて調べる	180	実行力 課題発見力 創造力
5週 /	○情報とネットワークのしくみ 情報通信ネットワークが現代社会とどうかかわっているか、事例を基に解説	講義 PPにより説明 ネットワークのしくみと私たちの生活についてフィードバックをする	学内 LAN やインターネットのしくみが理解できる	(復習)インターネットのしくみを確認する (予習)インターネットの利便性について調べる	180	主体性 実行力
6週 /	○インターネットの光と影 ネット利用の仕方と「光」と「影」について事例を基に解説	講義 PPにより説明 インターネットの影についてフィードバックをする	ネット利用の利便性と悪影響について理解できる	(復習)インターネットの光と影の部分を確認する (予習)次週、小テストを実施。出題範囲の学習。	180	主体性 実行力
7週 /	○前半まとめ小テスト 前半の授業(2回～6回)のまとめとして小テストを実施	小テスト テストの解説をする	2回～6回の授業内容が理解できる	(復習)小テストに出題された問題を確認する (予習)情報システムについて調べる	180	主体性 実行力 規律性
8週 /	○生活を支える情報システム(1) 情報システムの分類について解説	講義 PPにより説明 身近な情報システムについてフィードバックをする	情報システムの分類が理解できる	(復習)情報システムの分類を理解する (予習)情報システムの課題について調べる	180	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	○生活を支える情報システム(2) 情報システムの課題と将来について解説	講義 PPにより説明 情報システムの課題についてフィードバックをする	情報システムの課題が理解できる	(復習)情報システムの課題を確認する (予習)身近な情報セキュリティについて調べる	180	実行力 課題発見力 傾聴力
10週 /	○情報セキュリティ(1) 技術的なセキュリティ対策について解説 セキュリティ対策ビデオから被害防止について考える	講義 PPにより説明 ビデオ鑑賞 ビデオでの被害についてフィードバックをする	技術的なセキュリティ対策が理解できる	(復習)技術的なセキュリティ対策を確認する	180	課題発見力 傾聴力
11週 /	○情報セキュリティ(2) 個人で防げるセキュリティについて解説 対策ビデオから被害防止について考える	講義 PPにより説明 ビデオ鑑賞 ビデオでの被害についてフィードバックをする	セキュリティ対策から被害防止策が理解できる	(復習)情報の被害防止策を確認する (予習)コミュニケーションツールについて調べる	180	課題発見力 傾聴力
12週 /	○情報社会におけるコミュニケーション 特徴と情報サービスについて解説	講義 PPにより説明 コミュニケーションツールの特徴についてフィードバックをする	ネット上のコミュニケーションの特徴が理解できる	(復習)ネット上のコミュニケーションの特徴を確認する (予習)コンピュータの有害ニュースを調べる	180	主体性 実行力
13週 /	○情報化社会の倫理問題(1) 実社会で起きているコンピュータの有害情報のデータを基に情報倫理問題を解説	講義 PPにより説明 ビデオ鑑賞 情報倫理問題についてフィードバックをする	コンピュータ有害情報とその倫理が理解できる	(復習)コンピュータ有害情報とその倫理を確認する (予習)ネットワーク犯罪を調べる	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
14週 /	○情報化社会の倫理問題(2) 実社会で起きているネットワーク犯罪のデータを基に情報倫理問題を解説	講義と質疑応答 PPにより説明 ビデオ鑑賞 情報倫理問題についてフィードバックをする	ネットワーク犯罪とその倫理が理解できる	(復習)ネットワーク犯罪とその倫理を確認する (予習)ネチケットについて調べる	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15週 /	○情報モラルについて・まとめ 情報化社会で適正な活動を行うためのモラルについて解説 モラルとマナーの違い	講義と質疑応答 PPにより説明 ビデオ鑑賞 情報モラルについてフィードバックをする	情報モラルについて理解できる モラルとマナーの違いが理解できる	(復習)情報モラルについて確認する (予習)期末試験に向け準備をする	180	課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力